



くらもとたかふみ  
藏本隆文議員

## 豊かな笠岡市になるために

**議員** 来年度で、創生総合戦略は最終年度となる。4つの柱である①地元中小企業振興・起業支援②企業誘致の推進③第1次産業の活性化④観光振興について、現在までの達成状況と来年度施策及び予算についてたずねる。

**市長** 順調に進んでいるもの、さらにはテコ入れが必要なものがある。実効性の高い事業には重点的に予算を投入する。来年度の施策として、①事業者間連携や产学の連携を図り、新商品、新サービスの開発につなげる。②民間活力の利用も含めて工業団地の適地を検討する。③将来的な農業活動の形であるスマート農業の推進を産学官の連携で取り組んでいく。④道の駅の来場者増の取り組み、観光関連のイベント参画や修学旅行誘致の

取組みを進める。また、産業振興ビジョンの改訂や日本遺産認定に向けての事業との整合性も図る。

**議員** どれだけ利益をもたらされるかという点をしつかり考えていただきたい。

## 今後の防災体制を早期に

**議員** ①7月豪雨災害の検証作業はいつまでに行われるのか。②新計画の策定は。③被災者への聞き取り調査を行うべきと考えるが。

**市長** ①様々な問題が出たため、それが解決するまでが検証作業と考えている。②地域防災計画の改定作業と受援計画の策定に取り組む。③今後、調査の内容、方法等について検討する。



さかもとときみあき  
坂本公明議員

## 中学校の運動部活動の現状と課題を問う

### 災害時の緊急避難場所を問う

**議員** 地域で、状況に見合った避難場所の選定を急ぐ必要があると思うがどうか。

**教育長** 規模の大きな学校では、団体競技から個人競技まであるが、島しょ部では個人競技が1種目のみとなっているなど、学校規模により選択肢が限られること、専門的な技能を持つた教員を顧問に配置できることなどが課題である。

**危機管理部長** それぞれの自主防災組織において、実情に応じた避難場所を決めていただくようお願いしている。例えば、大雨の時は地区の公会堂、津波の時は高台の空き地というふうに決めている地区もある。

**議員** 一時避難の場所でも必要な物資の確保をしていただけるのか。

**危機管理部長** 本年の豪雨や台風の際には、要望のあった公民館や集会所に物資を届けた。避難場所に事前に物資を備える要望の地区があれば対応していく。

用意を進めていく。

